

校長室だより第 48 号（令和 8 年 3 月 6 日）

第 48 号は、いくつかの話題を記します。

その 1 月日が過ぎるのは早い！

あっという間に 3 月になってしまいました。『1 月は行く。2 月は逃げる。』と昔から言われており、『そんなわけあるか。同じ 2 か月じゃないか。』と新年が明けると毎年のように思うのですが、今回もいつものようにあっという間に『行かれ』『逃げられ』、気がつけば 3 月です。もう 1 年の 1/6 が終わってしまったのですね。びっくりです。

そして、『3 月も去る。』のしょうね。子どもたちが登校するのは、卒業生があと 8 日、在校生があと 11 日です。よい終わりになるように頑張ります。

その 2 皆既月食見えず・・・

3 月 3 日は半年ぶりの皆既月食でした。午後 7 時頃から、月が欠け始めるということで期待したのですが、雨のためお月様は見えず。残念な結果となりました。

次回は、3 年後。2029 年 1 月 1 日。なんとお正月から皆既月食が見られるなんて！期待しましょう。今から言っても仕方ありませんが、晴れますように。

その 3 停電のこと

少し時間を巻き戻します。皆さんもご存知のように、2 月 25 日に小倉の街の一部地域で停電がありました。時刻は 11 時 40 分頃。ちょうど、出来あがった給食を各教室に運搬している時でした。いつもは、給食用のエレベーターで上の階に上げるのですが、停電のため、それができません。「子どもたちに取りに来てもらうしかないか。」と相談していると、電気がつきました。復旧したのです。今がチャンスと、エレベーターを使用し給食を上層に上げました。しかし、また電気が消えました。エレベーターの中に給食が閉じ込められてしまったのです。3 日前にはスカイツリーでエレベーターが途中で止まり 5 時間以上も乗客が閉

じ込められたというニュースが頭をよぎりました。給食を食べられない学級が出てしまうのかと少々焦りました。しかし、心配ご無用。本校のエレベーターは停電になると、『近くの階まで動きドアが開く』プログラムが設定されていたのです。無事に配膳をし、少々暗い中ですが、給食を食べることができました。

給食以上に困ったのは、トイレです。ポンプで水をくみ上げているため、停電でポンプが動かなくなると、水が出にくくなるのです。大量に水を使うトイレでは、用を足しても、水を流せなくなってしまったのです。

1階の外にある水道はかろうじて使えたので、バケツに水をくみました。各学級から子どもたちに1階まで来てもらい、上の階まで運んでもらい、トイレで使用しました。

昼間であれば、停電でもそれほど不便とは感じないのですが、『水』で困ることになるとは思いませんでした。大きな災害に備えて、いろいろと考えていかなければならないと思いました。